



# アイノラ交響楽団

## 第12回定期演奏会

ジャン・シベリウス生誕150年記念演奏会

Jean Sibelius  
ジャン・シベリウス

2015年4月12日(日)

開演: 13:30 (開場: 12:45)

(開演・開場時間が例年と変更になっております。ご注意ください。)

杉並公会堂・大ホール

全席自由 1,500円 (前売り 1,200円)

チケット取り扱い:

Pコード 251-141

●チケットぴあ web サイト <http://pia.jp>

TEL 0570-02-9999

SHOP セブン-イレブン、サークルK サンクス

●杉並公会堂チケットカウンター 03-5347-4450

プログラム:

ジャン・シベリウス(Jean Sibelius) /

カレリア組曲 作品11 *Karelia Suite, op.11*

クッレルヴォ 作品7\* *Kullervo, op.7*

指揮: 新田 ユリ

独唱: 駒ヶ嶺 ゆかり(メゾ・ソプラノ)\*

末吉 利行(バリトン)\*

男声合唱: 合唱団お江戸コラリアーズ\*

合唱指揮: 山脇 卓也

合唱指導協力: 松原 千振

主催: アイノラ交響楽団 <http://www.ainola.jp/> (TEL 080-3603-3825 10:00-18:00)

後援: フィンランド大使館 / 一般社団法人 日本フィンランド協会 / 日本シベリウス協会 / 一般社団法人 日本フィンランド文化友好協会 / 杉並区

■未就学児の入場はご遠慮いただいております。ご了承ください。

■駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。



撮影:落合英後

## 指揮:新田 ユリ

国立音楽大学卒業後桐朋学園大学ディプロマコース指揮科に進む。指揮を尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、小松一彦各氏に師事。1990年第40回ブザンソン国際青年指揮者コンクールファイナリスト。1991年東京国際音楽コンクール指揮部門第2位。1991年に東京交響楽団を指揮してデビュー。その後も東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉、仙台フィルハーモニー管弦楽団、広島交響楽団、札幌交響楽団、京都市交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、大阪センチュリー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、アンサンブル金沢、京都フィルハーモニー室内合奏団、東京室内合奏団、愛知室内オーケストラを指揮。東京佼成ウインドオーケストラ、大阪市音楽団と共演、録音、またシエナ・ウインド・オーケストラ、東京吹奏楽団にも客演。オペラでは、横浜シティオペラ、大田区民オペラ協議会でモーツァルトの5大オペラ、「夕鶴」などを指揮。2000年10月～2001年10月、文化庁芸術家在外研修員としてフィンランドに派遣され、音楽監督オスモ・ヴァンスカ氏のもとラハティ交響楽団で研修。フィンランド国立歌劇場とサヴォリンナ音楽祭においても、オスモ・ヴァンスカ氏のアシスタントを務める。これまでにクオピオ交響楽団、ミッケリ市管弦楽団、ヨエンスー市管弦楽団、フィンランド海軍吹奏楽団、フィンランド国防軍吹奏楽団、ラテンペスタ、クリスチャンサン交響楽団などフィンランドはじめ北欧諸国へ客演を続けている。2005年～2007年オウルンサロ音楽祭へ招聘。2006年、2013年リエクサ・プラスウィーク客演。2005年9月にフィンランド日本友好協会よりラムステッド基金奨学金を授与される。また2006年4月にはオクタヴィア・クリストンよりヨウコ・ハルヤンネ氏(フィンランド放送交響楽団ソロ首席トランペット奏者)との共演CD<Symbiosis>がリリースされた。2006年、2007年には東京新聞フォーラム「指揮者がみたフィンランド」にて講演と演奏のプロデュース・指揮を務めた。2007年4月より2009年3月まで中日新聞「エンタ目」に月1度コラムを執筆。プログラムノートの執筆も多く自分の公演のほか、北欧音楽を取り上げた2007年5月紀尾井シンフォニエッタ東京、2008年1月NHK交響楽団の定期演奏会を担当。2008年6月、2010年7月にNHK「名曲探偵アマデウス」に出演。シベリウスの「フィンランディア」「交響曲第2番」を特集した番組の解説を務める。日本シベリウス協会会長。国立音楽大学、桐朋学園大学、相愛大学、同志社女子大学などで後進の指導に当たっている。アイノラ交響楽団正指揮者「森と湖の詩サロンコンサート」主宰。2015年1月より、一般社団法人愛知室内オーケストラの常任指揮者に就任。 ●公式ホームページ「森と湖の詩」<http://www.yuri-muusikko.com>



## ソプラノ:駒ヶ嶺 ゆかり

札幌出身。北星学園音楽科を経て大谷短期大学音楽科卒業。同校専攻科・研究科終了。98年～01年フィンランドに留学。館野泉氏、マリア・ホロバイネン氏の許で研鑽を積む。「オウルンサロ音楽祭」、在日本大使館主催「日フィン修好80周年記念演奏会」に出演。ミレニウム演奏会「第九」(クオピオ)にてソリストを務める。帰国後、「シベリウスフェスティバルin JAPAN」、「北欧音楽祭すわ」、「丹波の森国際音楽祭」に出演。東京新聞主催「シベリウス没後50周年記念「クッレルヴォ」」のソリストを務める。06年キリン・ワールドカップサッカーにてフィンランド国歌独唱。11年モスクワにて「プレアブラジュニエ合唱団記念音楽祭」に出演。国内外からの音楽祭の招聘を受けリサイタル・宗教曲・管弦楽歌曲のソリストを務める。全8回に及んだ「シベリウス歌曲全曲演奏会」(東京)、全5回「シベリウスからはじまる新しい世界」(東京・横浜)をピアニストの水月恵美子氏と共に完遂。各5年企画「Nordic forest in Sapporo」、「北欧の森in仙台」では北欧作品を紹介。現在、J.シベリウスを軸とした新企画「魂心(きしん)の人」、ギタリスト宮下祥子氏との「北海道を紡ぐ」を継続中。14年には、北海道二期会創立50周年記念公演オペラ「ショパン」のタイトルロールを務めた。札幌文化奨励賞受賞。道銀芸術文化奨励賞を受け札幌交響楽団とシベリウスの管弦楽歌曲を演奏。札幌市民芸術祭大賞受賞。日本シベリウス協会理事。北海道二期会員。



©M.Ishibashi

## バリトン:末吉 利行

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院を修了。声楽を畑中良輔、平野忠彦、田中万美子、河合武彰の諸氏に師事。第25回ジローオペラ賞、新人賞を受賞。バッハの受難曲やカンタータ、ハイドン「天地創造」「四季」、ヘンデル「メサイア」、ベートーヴェン「荘厳ミサ曲」、メンデルスゾーン「エアリア」「聖パウロ」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」、プッチーニ「小荘厳ミサ曲」、モーツァルト、フォーレ、デュリュフレ、ヴェルディ、ドヴォルザークの「レクイエム」など数多くの宗教曲および「第九」の演奏で高い評価を得ている。オペラでは「ドン・ジョヴァンニ」のタイトルロール、「フィガロの結婚」のフィガロと伯爵、「魔笛」のパパゲーノ、「コジ・ファン・トゥッテ」のグリエルモ、「カルメン」のエスカミーリョ、「椿姫」のジェルモンをはじめ「ラ・ボエーム」のマルチェッロとショナール、「トゥーランドット」「最後の護民官、リエンツィ」「愛の妙薬」「蝶々夫人」「パリアッチ」「カヴァレリア・アルスティカーナ」「ウィンザーの陽気な女房達」などの主要な役をレパートリーとしている。その他、ドイツリート、日本歌曲の演奏活動も行っている。平成2年フィンランドで行われるサヴォリンナ音楽祭に「蝶々夫人」「春琴抄」で参加している。平成19年より名古屋NHK文化センターで「声楽実践講座:歌曲からオペラまで」を開講している。愛知県立芸術大学教授。同大学のオペラ制作責任者を15年務め、2016年の開学50周年記念オペラの制作責任者に抜擢されている。大学オペラの制作責任者を10年以上務めている。洗足学園音楽大学非常勤講師。二期会会員。青の会会員。日本シベリウス協会会員。



## 合唱:合唱団お江戸コラリアーズ

1998年4月に設立したアマチュアの男声合唱団。音楽監督である伊東恵司氏(なにわコラリアーズ等指揮者)の「関西がナニワやから、東京はお江戸でしょ」という一言から「お江戸コラリアーズ」と名乗る。全日本合唱コンクールにて金賞および文部科学大臣賞などを受賞。男声合唱の新たな響きとスタイルの獲得を目指し、「全員が主役」をモットーに活動している。

## 管弦楽:アイノラ交響楽団

アイノラ交響楽団は、北欧フィンランドを代表する作曲家ジャン・シベリウスの音楽をこよなく愛するアマチュア演奏家たちによって、2000年12月に設立されました。アイノラとはフィンランド語で「アイノのいる場所」という意味。シベリウスは、最愛の夫人「アイノ」の名にちなみ、ヘルシンキ近郊のヤルヴェンパーという街に構えた自邸のことをそう呼んでいました。彼は自然豊かなアイノラの地を終生愛し、そこで数々の傑作を創り上げています。シベリウスファンにとっての聖地とも呼べる「アイノラ」の名を戴いたこのオーケストラでは、7つの交響曲をはじめ数々の交響詩・音詩を含む管弦楽作品全ての演奏を目標としています。演奏会では毎回コンセプトのあるプログラムづくりを心がけ、日本では演奏される機会の少ないシベリウス以外のフィンランド人作曲家やスウェーデン、ノルウェー、デンマークやバルト諸国の作曲家の作品も積極的に取り上げています。正指揮者にはフィンランドと日本を拠点に活躍を続ける新田ユリ氏を迎え、その指導の下で、透明感のある音色や、北欧音楽特有の「語法」の表現を大切にしながら、年1度の定期演奏会に向けて練習を重ねています。

### 杉並公会堂

東京都杉並区上荻1丁目23-15 TEL 03-3220-0401

